

事業名：Fukuoka Santa Walk in Kashi 2018

目的

サンタの衣装でまちを歩くことで、住民の交流を深めるとともに、地域外の人呼び込み地域活性化を図る。また、こども福祉に目を向けさせることで子どもの福祉への関心を広げる。

活動内容

サンタの衣装でまちを歩くイベントを開催した。参加者を募集し、参加料の一部を福岡市立こども病院へ寄付した。事前にこども病院と協議し、プレゼント内容等を決定した。今年は新たに西鉄香椎駅の福岡副都心クリスマスマーケットをゴール会場に設定し、地域団体や協賛各社の協力を得て盛会であった。

イベント終了後の12月25日に、子どもたちへのプレゼント及び寄付金贈呈式を実施した。イベント告知は、積極的に実施し、市政だより、西日本新聞等にも掲載された。

- 【ウォーキングコース】 JR千早駅～クリスマスマーケット in 香椎会場（西鉄香椎駅東口広場）  
 【スケジュール】 6月～ 企画会議（関係機関との協議、準備等）  
 12月22日 Fukuoka Santa Walk in Kashi 2018 開催  
 12月25日 こども病院訪問  
 【参加者】 214人（一般参加者・スタッフ含む）

九州産業大学学園祭「香椎祭」での企画展示



イベント準備からイベント当日の様子



こども病院での寄付贈呈式



事業の効果

地域自治協・住民及び地域団体の参加・協力があり、さらに千早～香椎とエリア拡大及び他イベントとの共催により回遊性が高まり、参加者のイベント終了後の周辺飲食店等での購買行動も見られたことから、一定の効果はあったと考えている。

事業費

総事業費：322,444円（フライヤー・ポスター作成経費及び購入費、保険料等）  
 内訳：自主財源 42,044円 事業収入 169,400円 補助額 111,000円

実施団体名

香椎サンタウォーク実行委員会（所在地 東区松香台2丁目 九州産業大学内）

その他

この事業は、平成29年度から継続して実施されました。別添成果報告会の資料もご参照ください。

## 事業名：生ごみ資源化

## 目的

家庭から出る生ごみをごみとしない生活を推進するため、住民が資源であることを認識し、環境意識を醸成することを目的とする。家庭で簡易に生ごみを堆肥にすることができるダンボールコンポストの技術を習得することで家庭ごみの減量が期待できる。

## 活動内容

初心者向けダンボールコンポスト講座、フォローアップ講座を実施した。また、継続率を高めるため、特定の5軒を対象に手入れ巡回訪問を行った。

## 【講座開催状況】

	実施日	会場	参加人数
初心者講座	H30.9.26(水)	なみきスクエア	27人
	H30.11.11(日)	くるくる村マーケット会場	21人
	H30.12.12(水)	臨海3Rステーション	17人
	H30.12.19(水)	コミセンわじろ	9人
フォローアップ講座	H30.12.6(木)	なみきスクエア	20人
	H31.1.30(火)	臨海3Rステーション	8人
巡回	H31.1~3月 月2回 合計6回	美和台校区 5軒	—
合計			102人

## 【講座内容】

初心者講座は参加者にコンポストキット(コンポスト基材, 箱, 虫よけキャップ)を無料配布した。フォローアップ講座は、初心者講座の参加者やH28・29年度の参加者に案内し、基材を少量持参してもらい、状態を見ながら進めた。参加者には新しい基材を配布した。巡回訪問は、香住ヶ丘校区の特定の5軒を対象に2週間に1度コンポストの手入れ訪問を行った。

講座や巡回訪問の様子



## 事業の効果

フォローアップ講座の開催や巡回等何らかのサポートを行うことで、サポートを実施した2か年平均で56%以上が継続(初心者講座のみでは30%程度)したため、コンポストの普及継続にはサポートの有無が大きく影響することがわかった。

## 事業費

総事業費：281,595円(ちらし作成費, 講師謝礼及びコンポストキット等購入費)  
内訳：自主財源 77,195円 事業収入 20,400円 補助額 184,000円

## 実施団体名

特定非営利活動法人 循環生活研究所(所在地 東区三苫4丁目)

## その他

この事業は、平成28年度から継続して実施されました。別添成果報告会の資料もご参照ください。

## 事業名：時間を有効に使い夫婦の絆を「がっちり」繋ぐプロジェクト

## 目的

子育て中の夫婦が互いに納得した時間の使い方を提案することで、ひとり一人の QOL 向上のきっかけを作り、夫婦の絆を深める。

## 活動内容

子育て中の働き世帯を対象に、現在の家事や育児、仕事に関する時間の使い方について、現状を把握し理想の使い方へ変化させるためのワークショップなどを実施した。いずれもコミセン和臼にて開催。

実施日	内容	講師
H30.10.13 (土)	① 講演「いまの時間を有効に使う！時間の価値を高める3ステップ」 ② ワークショップ	ふくおか女性いきいき塾6期生 チーム gacchiri★★★
H30.10.20 (土)	① 講演「子どもが憧れる夫婦になろう」 ② ワークショップ ③ 参加者による座談会	NPO法人ファザーリング・ ジャパン九州 森島 孝 氏

参加者 4組8名

講座の様子



## 事業の効果

第三者を交え夫婦があらためて対話でき、参加者の満足度は高く有意義な講座となった。

## 事業費

総事業費：107,018円（イベント講師謝礼，施設使用料，配布資料作成費等）  
内訳：自主財源 18円 事業収入 8,000円 補助額 99,000円

## 実施団体名

市民活動団体 nicoMammy（所在地 東区美和台1丁目）

## その他

別添成果報告会の資料もご参照ください。



## 事業名：唐津街道箱崎宿お宝さがし！

## 目的

箱崎地区は、九州大学箱崎キャンパス移転、また、馬出地区では、県庁・九大病院・マンション群の昼間人口の増加等による急激な環境変化が生じているなかで、箱崎宿の中核に位置し、参拝客が絶えない筥崎宮などプラス要因をうまく活用できていない。

そこで、筥崎宮とともに栄えてきた唐津街道箱崎宿に点在する古民家、史跡及び民話等の地域民族遺産を活用したイベント（見学・体験・朗読・演奏・まちあるき等）を実施し、次世代への伝統文化の伝承と町おこしを実施する。

## 活動内容

箱崎宿の民話等の民族遺産・史跡を活用したイベントを2回実施した。また、国登録有形文化財「箱嶋家住宅」で写真展とAI技術カラー化映像展を実施し、マスコミからも取材を受けるなど注目を集めた。

## 【イベント】

実施日	内容	会場	参加人数
H30.8.18(土)	「米一丸物語」 弾き語り	箱崎公民館	68人
H30.3.23(土)	「十六夜姫」 弾き語り	馬出まちづくり館	15人
			計 90人

## イベント当日の様子



## 【町家空間写真とAI技術映像コラボ展】

実施日	内容	会場	参加延べ人数
H31.1.19(土) ～ H31.1.29(火)	「町家空間の魅力」 写真展	国登録有形文化財	160人
H31.1.31(木) ～ H31.2.11(月)	「明治・大正時代の千代 の松原カラー化」 写真展	「箱嶋家住宅」	280人
			計 440人



## 事業の効果

イベントをとおして、箱崎宿のお宝や魅力を福岡市民、特に箱崎地区の住民や公民館に知っていただくことができた。

## 事業費

総事業費：414,624円（イベント演者等謝礼、イベント実施経費、チラシ作製経費等）  
内訳：自主財源 101,324円 事業収入 121,300円 補助額 192,000円

## 実施団体名

唐津街道箱崎宿お宝探索プロジェクトチーム（所在地 東区馬出2丁目）

## その他

この事業は、平成28年度から継続して実施されました。別添成果報告会の資料もご参照ください。